

**【重点分野－3】女性のための連合 LINE 労働相談
～仕事で悩むあなたを応援(サポート)します！～
連合本部 LINE 労働相談（6月7日～8日実施）集計結果報告**

6月の連合「男女平等月間」の取り組みの一環として連合は6月7日(火)～8日(水)に「女性のための連合 LINE 労働相談～仕事で悩むあなたを応援(サポート)します！～」をテーマにLINE相談を実施した。この取り組みは、働く上で女性が抱える悩みや不安、職場の問題に関する労働相談への対応を行うとともに、相談を通じて組合結成や待遇改善の取り組み等の対応を行い、寄せられた相談をもとに政策・制度への反映をはかることを目的に実施している。

I. 日 時：2022年6月7日(火)～8日(水) 10～15時

II. 場 所：連合本部6階 フェアワーク推進センター

III. 相談対応

1. 対応相談員：15名（連合本部スタッフ）
2. 相談体制：無料通信アプリ「LINE」（期間限定）

IV. 相談総件数：171件（1日目78件、2日目93件）

V. 相談概況：

<PR等について>

無料通信アプリ「LINE」による労働相談の実施にあたり、連合ホームページ、Facebook、TwitterやLINE、リスティング広告など、各種広報媒体を活用し、事前及び当日にLINE@へお友だち登録を呼びかけた結果、LINE労働相談実施（2018年11月）以降、最も多い件数の相談が寄せられた。

<属性>

年代別では、30～40代の相談者が約53%、性別では女性が71%、雇用形態別では正社員が約59%を占めた。正社員以外からの相談のうち約5割がパートタイマーで、アルバイトと派遣社員がそれぞれ2割強であった。なお、新規の相談者が7割を占めた。

<主な内容>

相談内容別では「パワハラ・嫌がらせ」が約18%と最も多く、次いで「雇用契約・就業規則」が約8%、「年次有給休暇」と「安全衛生」が各々約7%。今回のテーマに関連し職場で悩む女性からの切実な相談が多く寄せられた。主な相談内容は別紙のとおり。

以上

寄せられた主な相談内容

■差別等（パワハラ・嫌がらせなど）

- 職場は体調不良などの理由があっても休みにくい状況。高熱で苦しい時でも「どの程度の体調不良なのか」と詳細説明を求められ、生理痛で生理休暇を申請した際は「生理は病気じゃない！」と言われ、休ませてもらえない。（女性）
- 男尊女卑がかなり激しい職場。勤続20年経ち、ようやく女性が結婚しても仕事を続けられるようになったものの、いまだに職場の男性の昼食は女性が注文を取り、お昼になると机まで運ぶという、今では考えられないことをさせられている。今回、役職につくことを命じられたが、長年腰掛け的な業務しかさせてもらえていなかつたので、今さら役職に付くことに抵抗した結果、職場で無視をされるようになった。パワハラに該当しないか。（正社員・女性・40代・複合サービス／四国）
- 今のところ産休や育休の予定がないにもかかわらず、取締役から「このまま続ける気があるのか、出産の予定はあるのか」と何度も面談で聞かれ苦痛。勤務先は妊娠したら退職させる職場で、数年前にも同僚の女性が産休中に新しい人を採用し、戻りたいと言っていたのに辞めさせた。45人程度の小さい会社のため、社内に産業医や窓口はなく、どうすればいいのか分からぬ。（正社員・女性・30代・製造業／関東）

■労働契約関係（雇用契約・就業規則など）

- 採用された時の雇用条件とは異なる部署へ異動を提示され、異動になる。雇用条件の通知書はまだ捺印していないが、口頭では基本給含め、年収が下がる旨を通達され、納得がいかない。（正社員・女性・30代・その他／熊本）
- コロナ禍が落ち着いたら正規職員で直接雇用すると言われたため、派遣先で働き続けるために派遣元で無期雇用された。2年が経ち、再度、派遣先に直接雇用について確認したところ、まずは嘱託として直接雇用と回答された。正規職員として雇用されるという約束を信じて今まで派遣社員として働いていたため、派遣元や派遣先になにか責任を問えないか。派遣元・派遣先とのやり取りは口頭のみで証拠がない。（派遣社員・女性・30代・医療、福祉／愛知）

■労働時間関係（年次有給休暇など）

- 残業未払い、休憩なし。（アルバイト・男性・20代・飲食店、宿泊業／大阪）
- 大手通販サイトの配達を請け負う企業で働いている。休憩時間・休日がほとんどないなど労働環境に悩んでいる。（正社員・男性・運輸業／山梨）
- 休憩時間を取りたくてもとれない状況にあり、休憩時間中も仕事をしている。仕事をした時間分の賃金について会社側に聞いたところ、休憩中に働いても賃金は出せないと言われた。（正社員・女性・20代・医療、福祉／青森）

以上